

今後の取り組み



シャープでは、今後も、事業ビジョンの具現化に向け、8Kや5G、AI、IoT、ロボットをはじめとした革新的な独自技術を核に、様々なパートナーと連携し、次々とシャープならではの新たな価値を生み出す「8K+5G Ecosystem」「AIoT World」の構築に取り組みます。

2020年度については、COVID-19の流行や米中摩擦の激化などもあり、事業環境が大きく変化していることから、Transitionの期間と位置づけ、「事業環境の変化への対応」「将来の成長に向けた種蒔き」「積み残した課題の早期解決」を図ります。例えば、巣ごもり需要に対し、ヘルシオホットクックやヘルシオデリ、8K/4Kなどの高付加価値テレビの展開を強化するとともに、清潔・環境意識の高まりに合わせ、プラズマクラスター搭載商品を積極的に訴求します。また、テレワークの拡大や業務のIT化、GIGAスクール

構想をはじめとする国内外の教育ICT化に向け、PCやタブレット、大型タッチディスプレイなどをタイムリーに提供します。あわせて、こうした変化に伴うディスプレイへの需要も着実に取り込みます。さらに、COCORO OFFICEや無人化ソリューションの展開などにも注力します。このほか、サプライチェーンについても、事業環境の変化が調達、生産、販売等のプロセスに及ぼした影響をきめ細かく分析し、よりビジネスリスクに強い体制に再構築していきます。

そして、2021年度以降、事業ビジョンの本格的なRealizationを進めます。Smart HomeやSmart Office、Entertainment、Education、Health、Security、Industry、Automotiveなど様々な事業分野でイノベーションを実現することで、持続的な事業拡大と国際的な社会課題の解決を両立していきます。